

## ～アカデミア研究シーズの

### 産業化に向けた様々な取り組み～

アカデミアの果たす役割は、学ぶ、研究する事に加え、産業化に協力する事が求められるようになってきています。ここでは、アカデミアの研究シーズの産業化に向けた様々な取り組みの例を、京都大学での創薬の事例を基にご紹介させていただきます。



大阪大学にて学位を取得した後、製薬企業3社(日本オルガノン、武田薬品工業、住友ファーマ)で研究開発に従事。その後、京都大学イノベーションキャピタルに移り、アカデミア研究シーズからの研究開発計画を含む事業化計画の策定を支援し、様々なベンチャーの設立と設立後のハンズオン支援を行う。国内にてアカデミアと産業界の架け橋としての役割を担うひとり。

## 上野 博之 氏

京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
投資第二部 部長・事業企画部シニア・マネジャー

2023.7/12(水) 16:00～

会場 / 鶴岡市先端研究産業支援センター大会議室

参加費 / **無料**(どなたでも聴講できます)

※QRコードより参加登録をお願いします



【問い合わせ】がんメタボロミクス研究室

Tel:0235-64-0980 mail:info@ncc-tmc.jp